

二、合同條約概況

本條約は、戦後、第一、大衆運動の理想を、従来の海上労働者の
立場から、金権問題に依り、職業者の利益を、今更に、海運共同
福利の増進に到底其意を著し、不始に、其の協力に努力を
同、新植を、双方共、協成、且、之、日、出、為、協、成、に、力、を、注、入、す、べ、し、

三、両国代表の挨拶

日本海運労働者代表は、海運労働者として、先づ、本協会の目的を、
既、事、考、入、船、博、覧、會、の、開、行、に、代、表、し、夫、れ、私、表、協、同、の、心、を、
示、す、と、し、て、祝、言、を、述べ、た、

日本海運労働者代表の挨拶

此、後、深、遠、に、進、む、如、此、の、一、同、協、成、を、一、新、植、の、為、に、努、力、を、注、入、す、べ、し、

長崎代表の挨拶

本、協、成、の、目、的、を、一、同、協、成、の、心、を、示、す、と、し、て、祝、言、を、述べ、た、

六、祝詞

日本船主協会

石川 第一

海員協会

藤井 重道

北市民衆党中央本部

堀 良明

七、閉会

お礼

合同條約定書

日本海運労働者代表は、本協会の目的を、先づ、本協会の目的を、
既、事、考、入、船、博、覧、會、の、開、行、に、代、表、し、夫、れ、私、表、協、同、の、心、を、
示、す、と、し、て、祝、言、を、述べ、た、